

温泉の保護と利用に関する懇談会における発言要旨

山形県文化環境部環境企画課 広庭忠雄

- 1 山形県内の温泉について
源泉数、温泉地数、温泉地の形態など
- 2 温泉をめぐる産業と雇用や地域経済について
温泉施設の利用状況、地域経済における位置付けなど
- 3 山形県における温泉法に基づく成分の掲示について
利用施設における温泉成分の掲示内容など
- 4 温泉の表示制度について
温泉施設について国民が正しく理解できる情報提供
限りある温泉資源を守り引き継いでいくために

山形県内の温泉とその利用の状況等について

-温泉の保護と利用に関する懇談会資料-

平成15年10月10日
山形県文化環境部環境企画課

1 山形県内の温泉について

- 温泉地数、源泉数、湧出量の推移について
- 最近の温泉の掘削許可深度について
- 温泉地の分布と形態について

2 温泉をめぐる産業と雇用や地域経済について

- 温泉利用施設設置数、利用者数・宿泊者数の推移について
- 観光(温泉)の経済的効果について

3 温泉法に基づく成分の揭示について

- 温泉法に基づく成分の分析方法について
- 山形県温泉施設管理指導事業の概要について

4 温泉の表示制度について

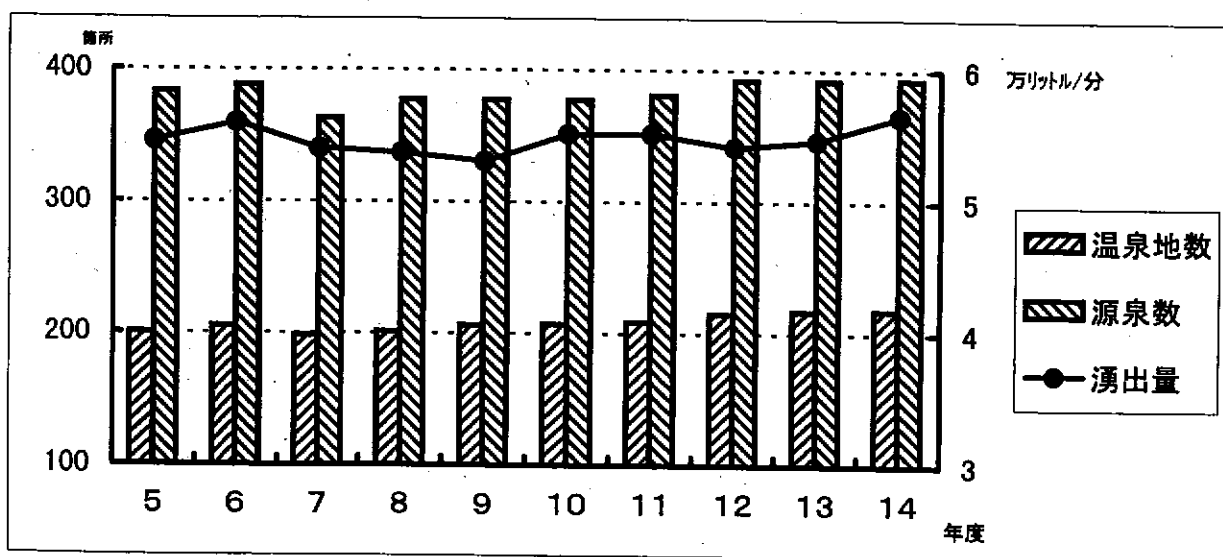
- 温泉利用施設について正しく理解できる情報提供について
- 限りある温泉資源を守り引き継いでいくために
- 温泉の表示に関する主な意見について

5 その他

- 温泉入浴マナーの向上について

温泉地数、源泉数、湧出量の推移について

年度	温泉地数(箇所)				源泉数(箇所)			湧出量(リットル/分)		
	総計	浴用 飲用	他 目的	未 利用	計	自噴	動力	計	自噴	動力
5	200	147	30	45	383	199	184	54,601	28,764	25,837
6	205	147	33	51	388	203	185	55,965	29,481	26,484
7	198	147	31	43	363	186	177	53,998	27,097	26,901
8	201	154	22	39	377	189	188	53,693	26,053	27,640
9	206	158	22	40	377	189	188	53,057	24,658	28,399
10	207	159	22	39	377	182	195	55,137	23,524	31,613
11	209	161	22	39	381	183	198	55,160	25,468	29,692
12	215	160	27	45	392	182	210	54,140	24,606	29,534
13	217	168	27	41	392	179	213	54,641	22,663	31,978
14	218	170	27	39	393	178	215	56,520	23,688	32,832

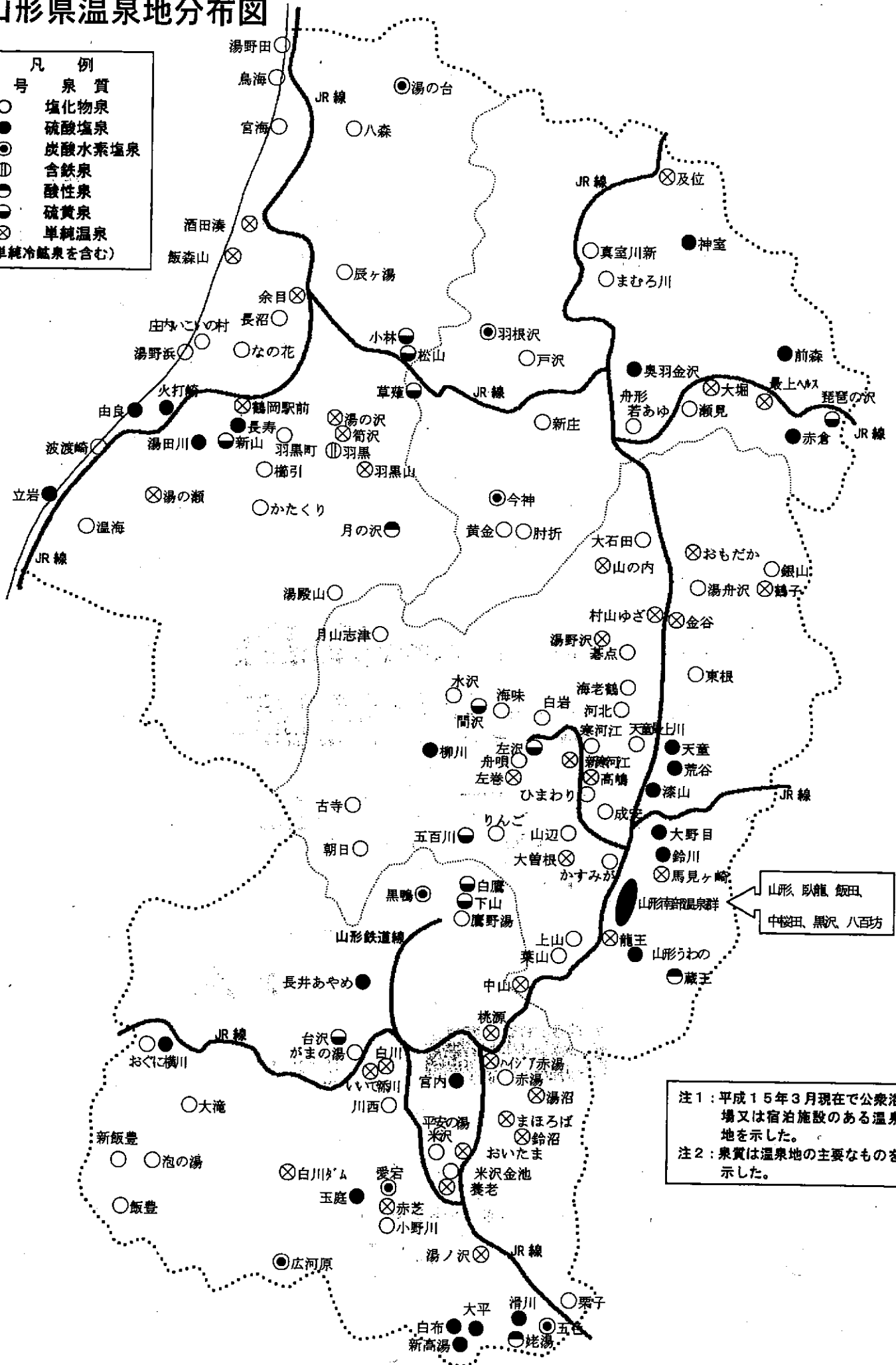


最近の温泉の掘削許可深度

年 度	10	11	12	13	14
許 可 件 数	8件	8件	3件	5件	7件
深度 1000m以上	2件 (25.0%)	4件 (50.0%)	2件 (66.7%)	3件 (60.0%)	3件 (42.9%)
平均許可深度	580m	860m	1,070m	980m	830m
最低許可深度	80m	200m	800m	400m	150m
最大許可深度	1,500m	2,000m	1,200m	1,500m	1,500m

山形県温泉地分布図

凡 例	
記号	泉質
○	塩化物泉
●	硫酸塩泉
◎	炭酸水素塩泉
⊕	含鉄泉
⊖	酸性泉
⊙	硫黄泉
⊗	単純温泉 (単純冷鉱泉を含む)

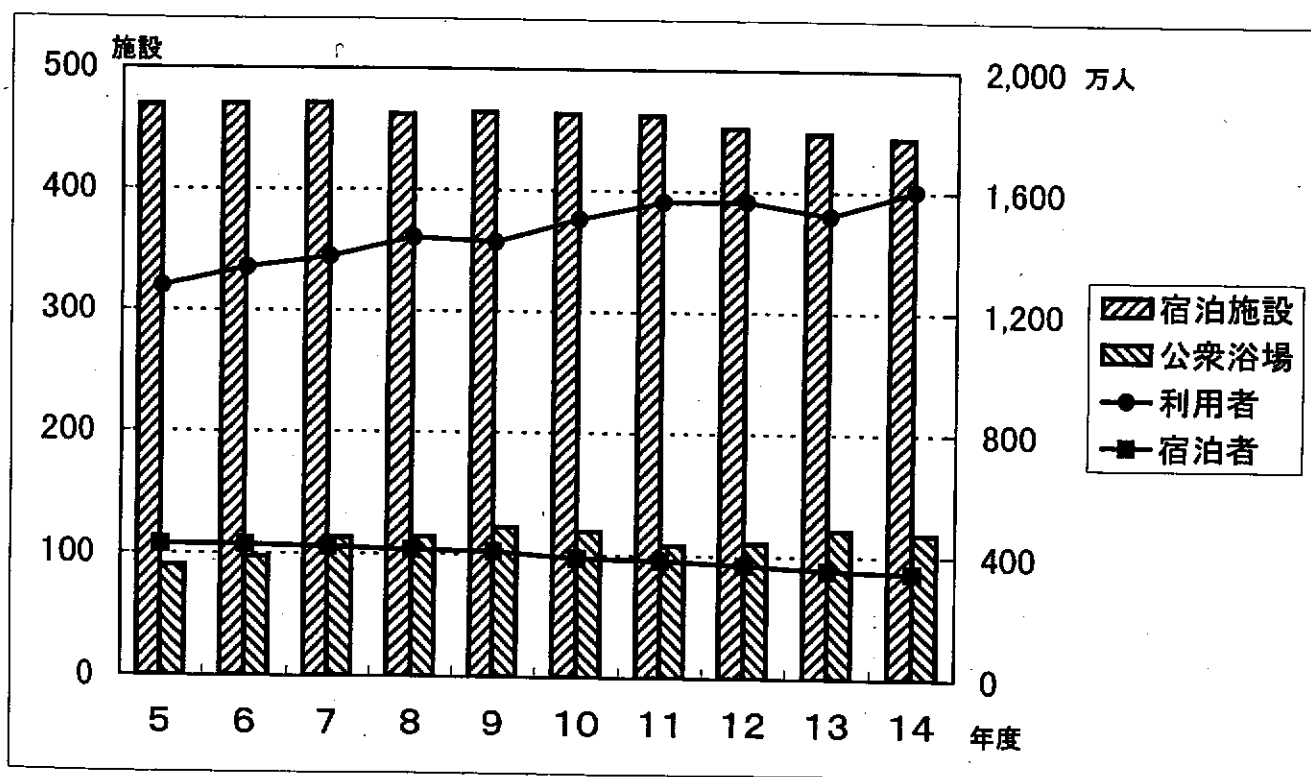


山形 臥龍、飯田、
中殿田、黒沢、八百坊

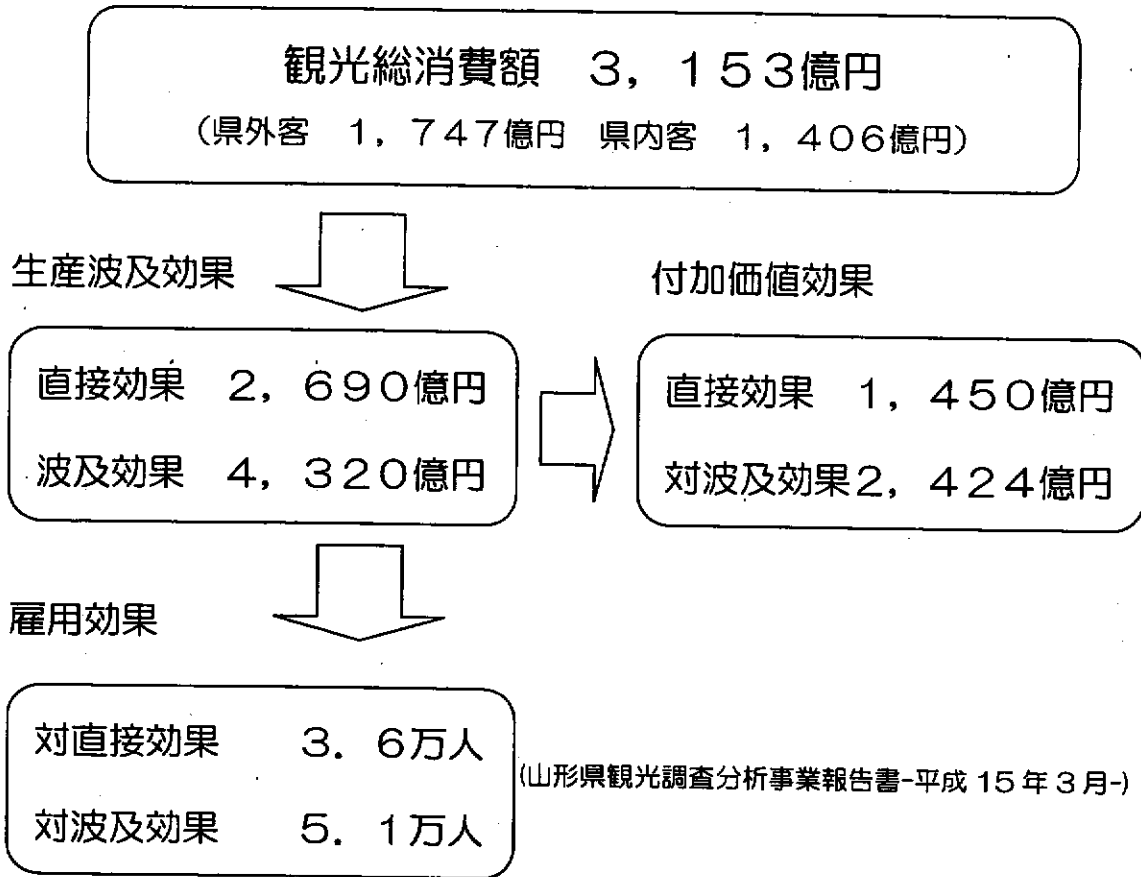
注1：平成15年3月現在で公衆浴場又は宿泊施設のある温泉地を示した。
注2：泉質は温泉地の主要なものを示した。

温泉利用施設設置数、利用者数・宿泊者数の推移について

年 度	温泉利用施設設置数(施設)					利用者数・宿泊者数等(人)					
	合計	利用区分		施設区分		宿 泊 定 員	利用者 合 計	う ち 宿 泊 者 数	左のうち保養・保健温泉地		
		浴 用	飲 用	宿泊 施設	公衆 浴場				計	国民保養 温泉地	国民保健 温泉地
5	587	582	26	469	90	39,730	12,788,455	4,291,048	965,405	734,386	231,019
6	591	583	29	470	97	39,549	13,414,378	4,287,862	882,877	689,788	193,089
7	605	595	30	471	113	41,480	13,780,322	4,210,233	907,673	710,016	197,657
8	602	596	30	462	114	41,079	14,417,868	4,134,570	873,482	676,993	196,489
9	595	586	30	464	122	41,671	14,283,689	4,084,692	840,554	673,652	166,902
10	599	587	32	463	119	42,252	15,057,534	3,879,744	889,197	707,078	182,119
11	593	590	34	462	108	41,121	15,644,136	3,833,702	864,931	695,280	169,651
12	600	592	33	452	110	40,417	15,669,870	3,699,149	850,345	681,257	169,088
13	596	590	33	448	121	40,772	15,216,444	3,537,635	856,499	689,596	166,903
14	599	594	35	444	118	40,274	16,049,367	3,468,579	824,327	668,874	155,453



山形県における観光の経済的効果(平成13年度)



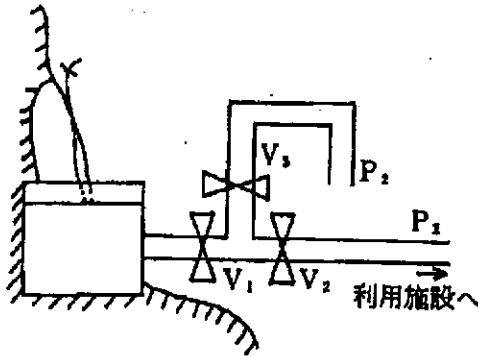
山形県の観光地類型別観光者数(平成13年度)

総数	3,809万人 (100.0%)
温泉	1,361万人 (35.7%)
名所・旧跡	1,158万人 (30.4%)
観光道路	281万人 (7.4%)
スキー場	180万人 (4.7%)
山岳	123万人 (3.2%)

(山形県観光者数調査)

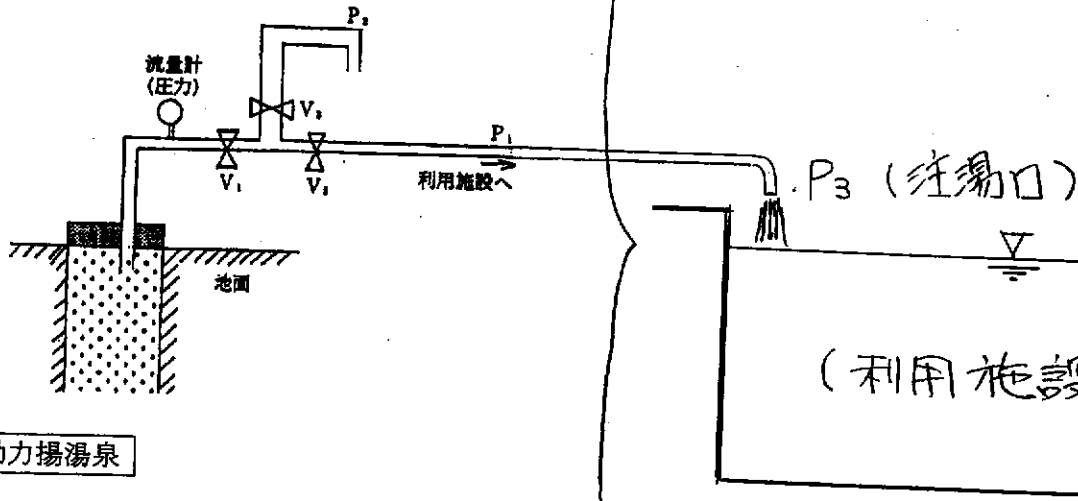
山形県における温泉法に基づく成分の分析方法について

自然湧出泉

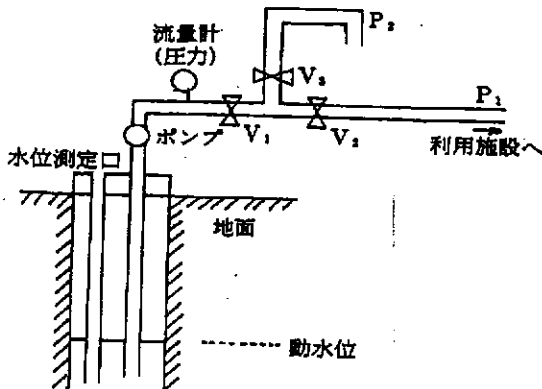


V_1 : 流量調整用バルブ
 V_2 : 利用施設側バルブ
 V_3 : 湧出(揚湯)量測定用バイパス管側バルブ
 P_1 : 利用施設向け配管
 P_2 : 湧出(揚湯)量測定用バイパス管

掘削自噴泉



動力揚湯泉



温泉成分等の分析位置と更新

(山形県温泉管理利用等指導要領)

- ① 温泉に該当するか否かは、 P_2 の分析結果で判断する。
- ② 温泉の利用許可申請及び温泉分析等の揭示は、 P_3 の分析結果を用いる。
- ③ 分析後10年を経過した場合は、湧出口及び温泉利用施設で再分析を行うこと。

山形県温泉施設管理指導事業の概要

1 目的等

源泉の管理については、温泉管理利用等指導要領で細部にわたり規定しているが、平成6～7年度において実施した源泉状況調査の結果、調査した源泉のうち約3分の1の源泉(約100箇所)において、温泉要素測定不能等の問題のあることが判明した。

この結果を踏まえ、平成11年度から毎年20源泉程度を対象として、個別の源泉の抱える問題を分析してその対応策を検討し、現場で指導することにより源泉施設の改善を図ることを目的として、社団法人山形県温泉協会に委託して実施している。

2 現地指導内容、指導方法等

- (1) 主要な温泉地及び源泉の集中している地域を優先して指導する。
- (2) 指導の方法は、源泉状況調査の結果から、源泉施設の不備なものを個別に選定し、それぞれの源泉施設の状況に合わせた具体的改善方法と温泉要素測定方法等を指導する。
- (3) 現地指導のほか、必要に応じ源泉施設の改善計画の県への提出を求める。

3 成果の取りまとめ

- (1) 成果品として、管理指導報告書(5部)を作成する。
- (2) 管理指導報告書の内容
 - ① 源泉個票
指導した源泉毎に、各源泉施設の状況に合わせた具体的改善方法と指導内容を記入する(現況写真を添付する。)
 - ② 指導源泉総括表
温泉要素測定不能理由ごとに改善策を類型化する。